

平成 22 年 3 月 31 日

株 主 各 位

東京都千代田区丸の内一丁目 11 番 1 号  
パシフィックセンチュリープレイス8F  
株式会社 バイオバンク  
代表取締役社長 石橋正義

### 第 10 回定時株主総会に変わる電子媒体による臨時株主総会の通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社第10回定時株主総会は、別紙のような事件が生じたので今回は事件が解決するまで特別に電子媒体を利用して臨時株主総会を開催させていただきます。

下記議案に不同意の方は、書面にてバイオバンク社宛にお知らせをお願い申し上げます。

議案に賛成の方は、返事は不要です。

よろしく、ご協力のほどお願い申し上げます。

敬 具

### 記

1 日時：平成22年3月吉日

2 場所：東京都千代田区丸の内一丁目 11 番 1 号

パシフィックセンチュリープレイス8F

株式会社 バイオバンク インターネットホームページ上

### 3 会議の目的事項

#### 報告事項

第10期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)事業報告

内容報告の件

決議事項 1号議案 第10期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

計算書類承認の件

以 上

株主総会参考書類及び提供書面の内容に修正が生じた場合は、

インターネット上の当社ウェブサイト(<http://www.biobank.co.jp/>)において周知させていただきます。

【提供書面】

事業報告

平成 20 年 4 月 1 日から

平成 21 年 3 月 31 日まで

1. 事業の概況

当社が主たる事業としております、移植用臓器の長期間保存および蘇生技術の研究開発におきましては、保存時間の延長、新たなメソッドによる保存技術の開発などを実施しております。

当社は、研究成果を学会等において発表するなどして、大学発バイオベンチャー企業として共同研究費を獲得すべく、各種団体や、医療関係企業との技術提携を模索してまいりました。

早期に具体的な共同研究、技術供与の取り組みが実現できるよう日々努力を重ねております。

当社は、移植用の臓器がないために命を落とす方がいなくなる世の中を実現するために株主の皆様のご支援の下、研究を続けてまいりました。

当社の技術が利用されるようになるためには、今少し時間が必要です。

引き続き長期的な視野でのご指導、ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。

(2) 設備投資の状況

特記すべき事項はありません。

(3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(4) 対処すべき課題

当社の事業は、前述のとおり今後とも厳しい状況が予想されますが、当社におきましては独自性の高い製品により新たなマーケットを積極的に開発してゆく計画であります。

しかしながら、摘出臓器の長期保存という他に事例のない研究開発をおこなっている関係上、事業化されるまでの間、他の技術、製品により研究費を確保する必要があります。

(5)直前3事業年度の財産および損益の状況

区分	第7期 (平成18年3月期)	第8期 (平成19年3月期)	第9期 (平成20年3月期)	第10期 (平成21年3月期)
売上高(千円)	110,353	141,477	32,973	0
当期純利益(千円)	17,510	△ 4,262	△ 51,062	△ 24,127
1株当たり当期純利益 (円)	92.88	-	-	-
総資産(千円)	228,905	229,484	173,103	169,169
純資産(千円)	174,833	165,564	114,501	90,374

(注)1. 第5期より、1株あたり当期純利益は、「1株あたり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株あたり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用して算出しております。

2. △は損失を示しております。

## 2. 会社の概況(平成 21 年 3 月 31 日現在)

### (1) 主要な事業内容

移植用臓器の長期間保存・蘇生技術の提供及貸与  
健康補助器具・食品の開発・販売

### (2) 主要な事業所

本社 東京都千代田区丸の内一丁目 11 番 1 号 パシフィックセンチュリープレイス8F

### (3) 株式の状況

①発行可能株式総数 754,080株

②発行済株式の総数 188,520株

③株 主 数 8,536名

④発行済株式の総数の 10 分の 1 以上の数の株式を保有する株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
関 邦 博	50,448 株	26.76%
石 橋 正 義	23,679 株	12.56%

(4) 従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
7名	0	38.6歳	2.8年

(5) 取締役及び監査役の状況

会社における地位	氏名	担当および他の会社の代表状況
代表取締役社長	石橋正義	
取締役	関邦博	
取締役	吉田優	
監査役	佐藤義雄	

(6) 取締役及び監査役の報酬等の額

区分	支給人員	支給額
取締役	0	0
監査役	0	0
合計	0	0

3. その他企業の現況に関する重要な事項

特記すべき重要な事実はありません。

## 貸 借 対 照 表

平成 21年 3月 31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
【 流 動 資 産 】	83,631	【 流 動 負 債 】	78,795,345
現金及び預金	83,631	短期借入金	63,969,374
【 固 定 資 産 】	115,488,547	未 払 金	7,601,227
【 有 形 固 定 資 産 】	1,247,599	預 り 金	6,100,777
工 具 器 具 備 品	1,247,599	未 払 法 人 税 等	1,123,967
【 無 形 固 定 資 産 】	110,113,087	負 債 合 計	78,795,345
特 許 権	110,113,087	純 資 産 の 部	
【 投 資 其 他 資 産 】	4,127,861	【 株 主 資 本 】	90,374,365
出 資 金	100,000	【 資 本 金 】	240,150,000
保 証 金	40,000	【 資 本 剰 余 金 】	111,700,000
長 期 前 払 費 用	3,987,861	資 本 準 備 金	21,700,000
【 繰 延 資 産 】	53,597,532	【 其 他 資 本 剰 余 金 】	90,000,000
試 験 研 究 費	18,228,577	【 利 益 剰 余 金 】	△ 256,467,997
新 株 発 行 費	35,368,955	【 其 他 利 益 剰 余 金 】	△ 256,467,997
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 256,467,997
		( 内 当 期 純 損 失 )	( 24,127,221)
		【 自 己 株 式 】	△ 5,007,638
		純 資 産 合 計	90,374,365
資 産 合 計	169,169,710	負 債 ・ 純 資 産 合 計	169,169,710

## 損 益 計 算 書

自 平成 20年 4月 1日  
至 平成 21年 3月 31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【販売費及び一般管理費】		
通 信 費	536,819	
会 議 費	176,400	
租 税 公 課	47,407	
支 払 手 数 料	2,742,600	
支 払 報 酬	6,699,155	
業 務 委 託 費	12,624,047	
維 持 費	329,323	23,155,751
営 業 損 失		23,155,751
【営業外収益】		
受 取 利 息	563	
雑 収 入	21,941	22,504
経 常 損 失		23,133,247
税 引 前 当 期 純 損 失		23,133,247
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		993,974
当 期 純 損 失		24,127,221

## 株主資本等変動計算書

自 平成 20年 4月 1日  
至 平成 21年 3月 31日

(単位：円)

【株主資本】			
【資本金】	前期末残高及び当期末残高		240,150,000
【資本剰余金】			
資本準備金	前期末残高及び当期末残高		21,700,000
【その他資本剰余金】	前期末残高及び当期末残高		90,000,000
資本剰余金合計	前期末残高及び当期末残高		111,700,000
【利益剰余金】			
【その他利益剰余金】			
繰越利益剰余金	前期末残高	△	232,340,776
	当期変動額	△	24,127,221
	当期純損失		
	当期末残高	△	256,467,997
利益剰余金合計	前期末残高	△	232,340,776
	当期変動額	△	24,127,221
	当期末残高	△	256,467,997
【自己株式】	前期末残高及び当期末残高	△	5,007,638
株主資本合計	前期末残高		114,501,586
	当期変動額	△	24,127,221
	当期末残高		90,374,365
純資産合計	前期末残高		114,501,586
	当期変動額	△	24,127,221
	当期末残高		90,374,365



## 個 別 注 記 表

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品 : 最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 : 法人税の規定に基づく定率法及び旧定率法

無形固定資産 : 定額法

長期前払費用 : 定額法

(3) その他計算書類作成のための基本となる重要事項

消費税の会計処理は税抜方式

2 株主資本等変動計算書に関する注記

期末株式数 188,520 株

3 その他の注記

有形固定資産の減価償却累計額 1,055,368円

## 監査役の監査報告書 謄本

### 監査報告書

私監査役は、平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第10期事業年度の事業報告、計算書類、付属明細書およびその他取締役の職務の執行を監査いたしました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法の概要

監査役は、取締役会そのほか重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び付属明細書につき検討を加えました。

#### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告およびその付属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 計算書類(貸借対照表及び損益計算書、株主資本等変動計算書および個別注記表)およびその付属明細書は、法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 取締役の職務の執行にかんする不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

平成21年8月25日  
株式会社 バイオバンク  
監査役 佐藤義雄

以上

## 株主総会参考書類

### ■ 議案及び参考事項

#### 決議事項

1号議案 第10期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)計算書類承認の件  
議案の内容につきましては、前記提供書面(2頁から9頁まで)に記載のとおりであります。

なお、取締役会は、計算書類の内容は、法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと判断しております。また、監査役の意見は、監査報告書(10頁)に記載のとおりであります。